

No. 1 6 5 1

2024年5月15日

古河電気工業株式会社

三重事業所内半導体製造工程用テープ第2工場を開設

～ 長期的な需要増に対し、高性能・高品質な製品の安定供給体制を構築 ～

- ・ 半導体需要の高まりに対して約 70 億円を投資し、三重事業所に同テープ製造の第 2 工場を新設
- ・ 2025 年 4 月より量産開始を予定
- ・ 半導体製造工程へのソリューション提供を通して社会の変化を支えるインフラ強靱化に貢献

古河電気工業株式会社（本社：東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 4 号、代表取締役社長：森平英也）は、半導体需要の高まりに対応し、今後も安定的に半導体製造工程用テープを供給していくため、三重事業所に第 2 工場を新設し、本年 5 月 15 日に開所式を行いました。

当社では半導体製造工程に用いられる仮固定用テープ（バックグラインディングテープ、ダイシングテープ等）と接着用テープを製造・販売しており、半導体デバイスの多様化と日々進化する半導体の性能、および製造工程に対し、当社コア技術のひとつであるポリマー技術を活かした製品を提供してきました。様々な分野、製品におけるデジタル化の進展、また生成人工知能（AI：Artificial Intelligence）向け需要の高まりもあり、半導体の需要は長期的に拡大し、さらに高性能化が予想されています。

当社は今後も高まる需要に対して高品質な製品を安定的に提供し続けるため、三重事業所に第 2 工場を新設しました。半導体製造工程用テープの製造工場としては、平塚工場、三重第 1 工場に続き 3 番目となります。三重第 1 工場では 2023 年 4 月より使用電力の 100%を実質的再生可能エネルギー由来電力（注 1）に切り替え、スコープ 2 として排出する CO₂ を削減しています（注 2）。これに加え、本工場では建屋の屋根に太陽光発電設備（オンサイト PPA）を設置し、使用電力の一部をまかなうことでさらなる環境負荷軽減を実現します。量産開始は 2025 年 4 月を予定しています。

当社は今後も、半導体製造における幅広いソリューションを提供し、社会の変化を支えるインフラ強靱化に貢献してまいります。



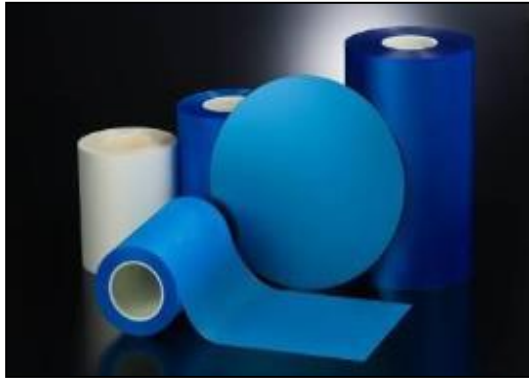
開所式の様子



半導体製造工程用テープ第2工場外観



屋根に設置した太陽光発電設備



仮固定用テープ
SP・CP・UC・FC シリーズ



接着用テープ（ダイシング-ダイアタッチフィルム）
NEX・AF シリーズ

所在地：古河電工 三重事業所内（三重県亀山市能褒野町 20 番地 16）

着工：2022 年 9 月

新工場延床面積：8 千平方メートル

設備投資額：約 70 億円

（注 1）中部電力ミライズ株式会社との間で「CO₂ フリー電気購入契約」を締結

（注 2）自社が購入した電力、熱などの使用による間接排出

関連ニュースリリース

半導体製造工程用テープの生産能力を増強

https://www.furukawa.co.jp/release/2022/fun_20220517.html

■ 古河電工グループの SDGs への取り組み

当社グループは、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を念頭に置き、2030 年をターゲットとした「古河電工グループ ビジョン 2030」を策定し、「地球環境を守り、安全・安心・快適な生活を実現するため、情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る。」に向けた取り組みを進めています。ビジョン 2030 の達成に向けて、中長期的な企業価値向上を目指す ESG 経営を Open, Agile, Innovative に推進し、SDGs の達成に貢献します。

古河電工グループの SDGs への取り組み

<https://furukawaelectric.disclosure.site/ja/themes/182>

■ お問い合わせ先

古河電気工業株式会社

広報部 村越

E-MAIL : fec.pub@furukawaelectric.com

以 上